

特別号

ふれあい

題字：扇谷利二

第10号

平成18年1月1日発行

発行所

特定医療法人七徳会

魚津病院・魚津老人保健施設

魚津老健ふれあい支援事業所

〒937-0806 富山県魚津市友道789

電話 (0765) 24-7671 (病院)

(0765) 24-7691 (老健)

FAX (0765) 24-7157

自分でやってみよう！要介護予備軍チェック

厚生労働省 要介護予備軍チェック(案)より

- この1年間に転んだことがありますか
転倒に対する不安は大きいですか
昨年と比べて外出の回数が減っていますか
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
お茶やみそ汁などでむせることがありますか
くちの湯気が気になりますか
6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか
周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるといわれますか
今日が何月何日かわからないときがありますか
(最近2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
(最近2週間) 以前は、案に出来ていたことが今ではおっくうに感じられる
(最近2週間) 自分が役に立つ人間とは思えない
(最近2週間) わけもなく疲れたような感じがする



いかがでしたか？チェックした数が多いほど、要介護状態への近道になります。不安を感じた方は、日頃の生活を見直して改善できることがあれば、今日から行ってみてください。また地域の保健機関ではいろいろな介護予防対策が行われています。興味がある方は、相談してみてもいいですか？

ご家族と共に創る 法人を目指して

平成十七年五月七日に老健施設の家族会定期総会及び病院の事業説明会が行われました。事業説明や介護保険の動向等を法人側より説明をさせて頂き、ご家族の皆様方からも重要なご意見を頂きました。また、本会において、法人側より法人全体の家族会の結成の提案がされました。



筋力アップで寝たきり予防

平成十七年七月十六日に老健・病院合同の家族介護教室が開催されました。今回は「介護予防」がテーマで、富山市保健部の木林勉氏による「介護予防と運動器の機能向上について」と題しての講演と当施設の筋力トレーニングマシンを体験していただきました。



法人内研修

平成十七年五月十三日、富山県社会福祉協議会権利擁護課主任・水井勉先生を講師に迎え、「個人情報保護」その具体的な対応をテーマに講演会が開催されました。私たち、医療・福祉サービス提供者にとって、患者様・利用者様の個人情報の保護

高齢者介護の現状や課題を探る

七徳会二十周年記念事業開催
九月十日新川老人福祉会と合同で二十周年記念事業を新川文化ホールで行いました。シンポジウムや施設での実践発表などを通して、高齢者の介護の現状や課題について考えました。高齢者疑似体験や写真展示、相談コーナーも同時開催されました。

法人二十周年の節目を迎えて

理事長 扇谷 利二



この度、魚津病院は開設二十周年を迎えました。これにあたり、先日、記念大会を盛大に執り行うことができました。

したのも関係者各位の当法人運営に対するご支援とご協力の賜物と深く感謝の意を表するものであります。また、平成十五年十一月から始まった当法人の大改修工事も平成十七年七月にようやく完了致しました。工事期間中は、皆様方には多大なるご迷惑をおかけいたしました。お陰をもちまして、まさに二十周年の記念すべき年に新しく生まれ変わることができました。

これからも地域に根ざした医療・福祉を目指し、職員一同一層努力して参りたいと存じますので、今後とも、皆様のご協力とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

は、プライバシーの権利を擁護する上で、重要事項の一つです。患者様・ご利用者の皆様に安心してサービスを受けていただくことが出来るように今後も学習を深めていきたいと思っております。

全国研究会で発表！

平成十七年十一月十七・十八日、日本療養病床協会全国研究会が東京で開催され、当院介護病棟の濱屋博人が、「拘縮のある患者様のベッド上リハビリを試みて」というテーマで意見発表を行いました。会場からの質疑応答もあり参加者の関心を集めていました。



踊らにゃ、そんな！～阿波踊り一行来たる～

平成17年8月20日、徳島県から阿波踊り一行の来院がありました。踊り手は、本場徳島の阿波踊り保存会の方々と、下は9歳から上は62歳までと幅広い年齢層で、男踊りや女踊りなどいろいろな種類の踊りを見せていただきました。見学の患者様・ご利用者様、職員に踊り方を指導してくださり、皆が一つになり、賑やかに踊りました。会場は、熱気と興奮で大いに盛り上がりました。保存会の皆様ありがとうございます。

これからの高齢者介護

白澤教授と蛭江教授をお招きして、シンポジウムが行われました。

コーディネーター

白澤 政和氏

(大阪市立大学大学院教授) 介護は互いの心の交流を密にし、何らかの喜びを見出すことが必要だ。要介護者が自分らしさを失わず、安心して暮らす為に、地域、家族、専門家がそれぞれの立場から連携し合い、満足度の高い介護を共に作り上げていかなければならぬ。



シンポジスト

廣田 良美氏

(在宅介護経験者) 在宅介護は、一人で問題を抱えず、専門家に相談し、我が家にあった介護計画を立てることが大事。



相山 馨氏

(魚津市基幹型支援センター 社会福祉士) 住み慣れた家で暮らし続けたいと希望する高齢者が多い。その希望を実現するには、住み慣れた地域で暮らせる環境づくりと、ケアの仕組みが大切となる。

蛭江 紀雄氏

(広島文教女子大学教授) 自立した老後設計の為に、地域で安心して暮らせる生活の場の確保が大切だ。介護者のサポートも重要。介護予防は、住民主体で互いに支えあいながら高めていくのが効果的といえる。



健康県富山を目指して 医療評論家 水野 肇



医療評論家の水野肇氏による記念講演が行われました。「近頃、日本の平均寿命が世界一になったのは、食生活の改善が大きな理由としてあげられる。大事なことは元気に長い間生きる、健康寿命である。一日に六千歩歩く、暴飲暴食を避けるといった基本的な健康管理が、元気に長生きすることにつながり、そうすれば健康県富山も不可能ではない。」と述べました。

「笑いは健康の素」

落語 三遊亭楽太郎師匠 「笑いは健康の素」と題し、笑点でおなじみの語り口で、会場は大いに笑いの渦に引き込まれました。法人を代表して、老健利用中の河野クマノ様(102歳)が、記念の花束を贈呈しました。



今後の行事予定

- 一月 書初め会、新年会、報恩感謝の集い
二月 節分豆撒き、誕生会、報恩感謝の集い、家族介護教室
三月 ひな祭りお茶会、誕生会、報恩感謝の集い、お花見招待状作り

ボランティア募集

- ご利用者のお話し相手や
行事イベントのお手伝い
特技を生かした作業活動 等々

お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

シルバーライフを健康で明るく
特定医療法人七徳会
魚津病院 ★ 魚津老人保健施設
魚津老健ふれあい支援事業所
☎(0765) 24-7671 ☎(0765) 24-7691

特集8…心地よい空間づくりへ ～自分らしく過ごして頂くために～

介護保険制度が始まり、高齢化がすすむと共に高齢者自身が、自分の持っている能力に応じ、自立した日常生活を送ることが出来る社会が、今、求められています。その為にも、大規模(集団・収容的)から、小規模(家庭的)へ、環境を整え、その人らしく、個性を活かすことのできるようなケアの確立が期待されています。また現在、介護が必要でない方でも、今後、要介護状態にならないような努力が必要になってくるでしょう。

したがって、このような社会の動きと共に病院・施設も、変化していくことが求められています。

当法人としても、このような社会の流れを見据え、地域の期待に応えていく為、この度、改修工事により環境整備を全面的に見直しました。

ユニットケア

利用者様一人ひとりの「病気」や「障害」を共にみつめ、「生活療養の場」として生活中心の視点からケアを行います。

家庭的な雰囲気の中で、同じ職員がお世話をし、いつの間にか顔なじみの関係ができあがります。利用者様一人ひとりの個性や能力に合わせて、自立した自分らしい生活ができるように支援しています。

毎日の生活の中で、出来ることがひとつずつ増え、生活の幅も広がっていきます。利用者の笑顔も増え、毎日イキイキと過ごすことで、病症状の緩和、認知症の予防を期待しユニットケアに取り組んでいます。

お菓子作りや、食器の後片付け、家事もリハビリのひとつです。



外来

受付前の待合室は、大きくとられた窓の一部にステンドグラスを配しました。暖かな日差しが差し込み、お客様を暖かく包みこみます。白いソファは、座り心地も良く、お待ちになるしばらくの時間をゆったりと過ごして頂きたいと思ひます。



個室

窓から入る暖かな日差しとそれを縁取るたっぷりとしたカーテンが高級感を漂わせます。テレビ付きのテーブルと書類机、こった作りのタンスが設置されています。また、プライバシーが守られ、自分らしい生活スタイルが生まれます。一味違った療養生活を送ってみてはいかがでしょうか？



4世代間の暖かい交流で表情も緩みます。

談話室

各病棟には、落ち着いた雰囲気の談話室が設けられています。ご家族やご面会の方との会話も弾みます。



絵画

受付から診察室に向かう廊下には、魚津市内の保育園・小学校の絵画を月替わりで展示しています。子供達のものびと描いた作品に心が和みます。もしかしたら未来の画伯が見つかるかもしれませんね。



廊下

病棟の廊下には、有名な絵画が展示され、利用者様・ご家族様に見ていただき、しゃれた美術館を思わせる雰囲気になっています。また、廊下幅も広く車椅子の利用者様同士がすれ違いやすくなりました。絵画の鑑賞もどうぞごゆっくりなさってください。

お知らせ

当老人保健施設の介護予防

通所リハビリでは、介護サービスのメニューとして、①運動器の機能向上、②口腔機能の向上、③栄養改善を実施していきます。



寝たきりにならないために…

～介護予防って何?～



平成18年度から介護予防が介護保険の中に位置づけられます。

介護予防事業では、筋力向上、口腔ケア、栄養の改善、閉じこもりの改善、フットケア等により、介護が必要な状態にできるだけならないよう予防に重点を置いた取り組みを行っていきます。

これに伴い、当法人も、介護予防訪問リハビリ・介護予防通所リハビリ・介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)の事業を18年4月より実施します。

＝充実してます!リハビリ設備・スタッフ＝

当法人では、来年度の新事業に先立ち、介護予防の一つである筋力向上マシンを今年度より導入し、専門スタッフ(健康運動実践指導者)によるトレーニングを開始しました。

また、理学療法士も常勤2名、非常勤2名と充実した体制をとっています。



理学療法士による指導も、熱が入ります。

＝栄養改善に向けて(栄養ケア・マネジメント)＝

高齢者の身体状態、栄養状態、嗜好などに着目し、個々の必要な栄養ケアの計画、評価を行う栄養ケア・マネジメントに取り組み始めました。体重や、血清の値といった栄養指標を参考に低栄養状態の予防、改善を通じ生活機能の維持、改善を目指しています。

人としての営みである「食べること」を重視し、生活全般を整え、改善し、介護予防として職員全体で栄養ケアに取り組んでいきます。

